

ホームページトピックス

編集委員会・ホームページWG

米田 英治

● はじめに

中部地質調査業協会のホームページも、おかげさまで13年が経ちました。当ホームページも、一昨年より「会員の皆様へ」という項目を運用してから、協会の動きや委員会等の内容の伝達がホームページを介して行われるようになり、協会員の皆様方にあってもホームページを訪れる機会が増えたのではないかと、とそういう感覚と期待を持っています。

今年度は、既にご存知だと思いますが、新たに静岡県地質調査業協会(静岡県支部)が加わり、現在の会員数は58社となりました。ますます発展しつつある当協会にあって、

ホームページもよりいっそう充実したものにしていく必要性を感じています。

ホームページのあり方については、協会員の皆様方へのご報告とともに、関係顧客の皆様や、一般の方々にも地質の重要性についていろいろと関心を持ってもらえるように心がけて運営しています。

なお、当協会のホームページ運営は協会員皆様方のご協力から成り立っています。今後ともこうしたらいいのではという意見や情報提供がありましたらよろしく願いいたします。

● 今年度の主な改正内容

今年度も引き続き、協会組織の変更、災害支援協定および全地連・中部ミニフォーラムの優秀論文等の定期的更新は随時行ってきました。特に静岡県支部が加わるにより協会組織の内容について変更いたしました。リンク集にも静岡県地質調査業協会を加えています(図-1.参照)。

その他の内容について、昨年度は「技術資料」の中の東海三県の地質と土木地質的特徴についての内容を一新し、また、昨今の豪雨による被災事例や今後想定される南海トラフ地震についての知見を加えることにより、協会員の皆様をはじめ、当ホームページを訪れた一般の方々にも、ここ中部の地質の成り立ちや災害と地質地盤が密接な関係を持っていること、よくいえば地質調査に関心を持っていただけたかと思えます。

今年度は「地質調査業とは」の内、ホームページ立ち上げ時に作成した「中部地方のプロジェクト」のコンテンツについて、名港トリトンや安房トンネル、また中部国際空港プロジェクトの地質を取り上げ紹介していましたが、これまで

一度も更新されずそのままになっていた内容の見直しを進めて来ました。当初、ワーキングでは、現在進行中の中部圏のビッグプロジェクトの地質の見地での内容に焦点をあてて紹介しようと考えていましたが、進行中の調査・工事における守秘義務の絡みや、現在厳しくなりつつある著作権事情とともに、これらプロジェクトを取り上げ掲載することが容易ではないことに気が付きました。そのような中で、今年度は内容的にやや退化したと思われる「中部地方のプロジェクト」全体を削除する方向に改めました。今後の「中部地方のプロジェクト」としての紹介は、各関係機関に承諾を得ながら、将来的に何かしらの形で掲載できればと考えていますが、進行中のものについては長期間かかるだろうと予想しています。

なお、話は変わりますが、「地質調査業とは」の中に、一般の方々への有益な教材用資料として全地連で定期的に公開されている「日本ってどんな国」シリーズへの直リンクを加えています。興味がある方は是非訪れてみて下さい(図-2.参照)。

平成25年度の
ホームページワーキング

上田 翔
(応用地質株)

津坂 喜彦
(株アオイテック)

平野 祐治
(基礎地盤コンサルタンツ株)

米田 英治
(川崎地質株)

山本 幹登
(東邦地水株)

● ホームページの将来像について

定期的に更新される内容以外では、会員専用ページを除いてトップページの「お知らせ」以外に目立ったものがなく、アクセス数(リピート率)が低いのではということが議論となっています。協会員の皆様方をはじめ、一般の方々にもっと関心を持ってホームページを訪れてもらうためには、いわゆる速達的な「お知らせ」以外にも、不定期に更新可能なコンテンツの充実を考えてみてはどうかということです。

ただし、新たなコンテンツの作成は、ワーキング委員も多忙であるため、かなりの負担を強いる作業には無理が生じてしまいます。そのため、なるべく負担が生じない方向で(外部の協力を含む)、将来的に実現可能なものとして、以下の内容が議論されています。

- ・中部圏の大学の先生方による地質関連トピックス
- ・県支部での活動内容(地域での社会貢献等)の報告
- ・県市町村で公開されているハザードマップ等の災害に関するデータベースの構築
- ・一般の方々へ向けたリンク集の充実

そのような中で、平成26年度は大学の先生をお願いをして、論文を紹介して頂けないか交渉を進めて行く事を検討していきます。また、支部での活動報告についても、編集委員会を通してトピックスの提供を打診する予定となっています。どのような形でいつ皆様方にご紹介できるのかわかりませんが、魅力あるコンテンツになればと期待を込めています。

一方で、ハザードマップ等のデータベースの構築やリンク集の充実化については、人手と時間を要することから、来年度にもう少し議論を深めていく必要があるかと考えています。

最後に、ホームページワーキンググループでは、運営・管理はもとより、将来性についても議論を重ねて、中部の地質に関するポータルサイトのような位置付けを目指していければと願っています。個人的には、当協会として何か特色のある、何かしらワクワク感のある…そんなホームページにしていければと思っています。

今後とも皆様方の末永いご協力をお願いいたします。

※下記組織図をクリックすると詳細ページを表示します。



図-1 平成25年度の中部地質調査業協会の組織



図-2 日本ってどんな国シリーズへのリンク(イメージ)